

重慶市長

黄奇帆 様

拝啓 貴台におかれましては、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

この度、広島市から特定非営利活動法人虹橋の会一行が、“和紙ちぎり絵で日中交流・友好の懸け橋に”をテーマに文化交流を目的として貴市を訪問するに当たり、広島市を代表し、貴台並びに重慶市民の皆様に御挨拶申し上げます。

重慶市と広島市は、1986年に友好都市提携を行って以来、文化・スポーツ、平和、経済、環境、医療、青少年交流などの幅広い分野で交流を重ねてまいりました。

こうした中、虹橋の会は、2002年に設立して以来、中国と日本の伝統文化の相互交流等を通して、両市の市民レベルでの国際交流活動の推進に貢献しております。毎年10月に本市で開催する「重慶の日」記念イベントにおいては、誰でも手軽に楽しさと奥深さを体験できる伝統手工芸である和紙ちぎり絵の展示のほか、組紐などの中国文化を来場者に披露いただいております。

今回、訪問団一行は、10月30日から11月1日まで貴市において、重慶師範大学美術学院及び重慶教育学院を訪れ、美術専攻の大学生や美術教師を始め、幅広い人々に対し、座談会や講座などを通じて、和紙ちぎり絵を紹介するとともに、芸術交流についての意見交換などを行う予定と伺っております。

この訪問を通して、両市の市民が互いの文化を尊重しながら、顔の見える交流を行うことにより、両市引いては両国の今後の相互理解、友好親善が一層深まるものと確信しております。また、今回の訪問が、来年の友好都市提携30周年に向けて両市の交流を更に深める契機となることを願っております。

貴台におかれましては、一行の重慶市滞在が実り多いものとなりますよう、格別の御配慮を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、重慶市の一層の御発展と貴台の御健勝をお祈り申し上げます。

敬具

2015年10月1日

広島市長 松井 一實